

羽ばたこう 明日へ

令和6年3月発行 第22号



▲ スポーツ少年団本部指導者研修会



▲ 酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会



▲ 酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会（サッカー）



▲ 酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会（剣道）

本部長あいさつ



酒田市スポーツ少年団本部

本部長 齋藤 勉

新型コロナウイルス感染症の取り扱いが2類から5類へ移行され、スポーツ少年団の活動も制限なしで実施され始めましたが、一方でインフルエンザ等の感染症が流行しています。「もらわない・うつさない」等の感染症対策を油断せず実践してください。

新年早々に能登半島地震がありました。平時から活動時における避難場所・経路や連絡方法について、子ども達や保護者と確認をお願いいたします。

（公財）酒田市スポーツ協会の研修会に日本スポーツ協会副会長で日本スポーツ少年団本部長の益子直美氏を迎えて「監督が怒ってはいけない大会を開催した理由」を演題にした講演会を開催していただきました。本部長の来酒は大きな喜びで、今回の開催にご尽力頂きました、同協会事務局並びにバレーボール協会等の関係者に感謝申し上げます。

中学校運動部活動の地域移行については、スポーツ少年団にも関わりが出てくるかと思えます。地域等と十分話し合いながら進めてもらいたいと思います。今後も酒田市スポーツ協会、酒田市体育振興会、酒田市スポーツ推進委員会、酒田市教育委員会等と連携してスポーツの普及に努めていきたいと思えます。

豊かなスポーツライフへのきっかけ



酒田市小学校体育連盟会長
(酒田市立八幡小学校校長)

金子 尚

今年度のスポーツ界では、日本選手の活躍もあり、スポーツが持つ力や魅力を様々な場面で感じることができました。3月に開催された2023ワールドベースボールクラシックでの優勝に始まり、FIBAバスケットボールワールドカップ2023では男子日本チームがアジア1位となり、パリオリンピックへの出場が決定、ラグビーワールドカップ2023では1次リーグ突破は叶わなかったものの熱戦が繰り広げられました。思い起こすと、心を揺さぶられる感動的な場面がたくさんあったように思います。私達の生活にも、大きな出来事がありました。昨年の5月に新型コロナウイルス感染症の取り扱いが2類から5類へ移行になり、基本的感染対策は個人の判断に委ねられたことです。これに伴い、学校では、コロナ前のように子ども達が関わり合いながら学び合う教育活動が積極的に展開されるようになりました。

そのような中、アメリカ大リーグの大谷翔平選手から全国の小学校にグローブが寄贈されました。本校でも大谷選手からのメッセージとグローブを紹介し、休み時間には子ども達がキャッチボールを楽しんでいます。中には、初めてグローブを使ってキャッチボールをしたという子もいました。大谷選手からの「野球しようぜ!」のメッセージは、野球というスポーツへの関心が高まるきっかけになったのはもちろんのこと、自分の将来の夢を持つて挑戦することの大切さを一緒に学ぶ機会にもなっているように感じます。

このように、スポーツへの関心が高まり、親しむようになるきっかけは様々です。私が子どもの頃は、「巨人の星」「アタックNo.1」などのテレビアニメも、その一つでした。アニメの登場人物に憧れ、ストーリーの面白さに影響されてスポーツを始めた友達が周囲には結構いたように思います。

近年では、日本人選手が様々なスポーツ界のトップクラスで活躍しています。子ども達にとつては、目標とする日本人選手が実在しており、その選手のプレー・技術・言葉などが、スポーツを始めるきっかけになることもあるようです。

学校では、様々な遊びや運動を体験する機会を工夫しながら、体を動かす楽しさや喜びを味わわせることを大切にしていきます。

様々な体験を通して、子ども達のスポーツに対する関心が高まり、「やりたい」という自発的な意欲が大きく膨らんだときに、その入り口の一つになるのがスポーツ少年団です。豊かなスポーツライフを実現するきっかけにもつながるものだと思います。

今後とも、スポーツ少年団活動が、「スポーツ少年団改革プラン2022」で示された方向性のもとに活性化し、さらに子ども達のスポーツ環境の充実が図られることを願っています。皆様のお力添えをよろしく願っています。

スポーツ少年団の素晴らしさ



庄内教育事務所社会教育課
社会体育主事

小関 孝幸

私は昨年度まで小学校の教員としてスポーツ少年団にお世話になってきました。当時はスポーツ少年団の担当として会議に参加したり、担任しているクラスの子どもが出場する大会に応援に行ったりとスポーツ少年団と密接に関わらせて頂きました。指導者や保護者の方々から、子ども達の学校では見せないスポーツ少年団での活躍や意外な一面を教えていただきました。学校外における友達との関わり、指導者や保護者への態度、一生懸命がんばっている姿などを知ることができました。私自身も小学生時代からスポーツ少年団の団員として活動してきました。現在は息子がスポーツ少年団で活動させて頂いておりますが、自分の経験だけでなく、実際に目の当たりにした子ども達が成長する姿から「スポーツ少年団活動の素晴らしさ」を述べさせていたのだと思います。

まず、現在のスポーツ少年団は大きな改革期にあります。スポーツに親しむジュニア・ユース世代が、所属団体等の垣根を超え、より適切なスポーツ活動が実施できる環境を整備するため、スポーツ少年団の理念(スポーツを通して青少年のこころとからだを育てるなど)をアップデイトさせた「ジュニア・ユーススポーツの理念」を作成中であることや、「スポーツ少年団」という名称を変更することも検討中ということなど、子ども達を取り巻く環境の変化に合わせてスポーツ少年団も変わらうとしています。しかし、スポーツ少年団の素晴らしさは一切変わらないと思います。具体的に述べますと、スポーツ少年団の理念「こころとからだを育てる」にあるとおり、スポーツ少年団の活動を通して筋力、持久力、柔軟性、巧緻性が向上していきます。そして、目に見えにくい「精神力の向上」これこそが指導者や保護者、地域の方々が手応えを感じ「スポーツ少年団っていいな」と感じている点ではないでしょうか。友達と協力し合う力、励まし合って乗り越える力、あいさつがきちんとできる態度など挙げればきりがありません。私が教員になってからは、学校で元氣いっぱいな子どもでも、スポーツ少年団の活動時には指導者や保護者に対してきちんとあいさつできる子が多かったことが印象的です。練習が多くあつた大変なのかと思いきや、練習で友達と一緒にプレーすることに楽しみを見ついたり、試合で勝つことに喜びを見出したりして練習や試合がある日を楽しみにしている子どもも多くいました。近年、「多様化」を掲げて様々なスポーツ環境や考え方が、課題が乱立しておりますが、いつでも、いつまでも変わらぬ「スポーツ少年団の素晴らしさ」を再度認識し、ますますスポーツ少年団が活性化することを期待しております。

結びになりますが、酒田市スポーツ少年団の関係各位や指導者の方々のますますのご健勝と、未来輝く子ども達のご活躍をご祈念申しあげます。

熱中症への配慮と本部大会

バスケットボール専門部長 池田 郁雄

今年度は過去に例を見ない猛暑で、気象庁によると、7月中旬から8月下旬にかけて、全国100か所以上で年間最高気温の記録を更新したとのことです。昨夏の全国平均気温は、1898年の統計開始以降最高となりました。

スポーツを実施する場面においても、暑さ指数を確認し、練習時間の変更や中止を判断しながらの活動を余儀なくされました。暑さ指数は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標で、気温だけでなく、湿度や日差しの違いをも考慮したものとなっています。(公財)日本スポーツ協会では「熱中症予防運動指針」において暑さ指数31以上になった場合、運動は中止すべきとの判断基準を示しています。今年度、酒田市で暑さ指数31以上を記録したのは、8月に6回と9月に2回の計8回。7月は湿気が多いものの、暑さ指数が31以上の日はありませんでした。練習実施の可否判断においては、当日だけでなく翌日以降の暑さ指数を予測できることから、環境省が提供する「熱中症警戒アラートのメール配信サービス」が大変役に立ちました。

そんな中で開催を予定していた「第50回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部バスケットボール大会」は、例年使用していた冷房設備がある国体記念体育館が工事のため利用できず、八幡体育館、遊佐町民体育館、八幡小学校を会場に実施することとなりました。U12委員会では、暑さ対策や熱中症警戒アラート発表時の対応など、猛暑の中、子ども達の安全に配慮した大会運営をどのように進めるか活発な話し合いが行われました。扇風機の設置、給水タイムの設定判断、暑さ指

数上昇に伴う大会延期や中止判断等について確認・準備しましたが、当日はそこまで暑さ指数が上昇せず、なんとか大会を行うことができました。体調を崩す選手もほとんどおらず、無事に実施できて何よりでした。

来年度以降も今年度のような猛暑が続くかもしれません。子どもを預かるスポーツ少年団指導者として、安全確保を図りながら練習できる時間や場所を確保していく必要があります。また大会の開催時期などの変更も検討していかなければならないかもしれません。教育委員会のおかげで、現在、酒田市内全ての小中学校体育館及び体育施設には、熱中症指数計が設置されています。

今後専門部として子ども達の競技力向上、プレイヤーズセンタード、安全第一な指導が共有されるよう、様々な情報を発信していきたいと思います。



バレーボール専門部の活動について

バレーボール専門部長 武田 正祐

ここ数年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温・消毒・三密回避・健康チェックなど、競技以外で神経を使う場面が多々ありましたが、今年度は、通常の開催で大会や行事を行うことができた1年だったように思います。

バレーボール専門部は、例年6つの大会と1つの講習会を運営しております。その中で特に今年度印象に残った大会は、12月中旬に開催したU-10(4年生以下)の交流大会です。山形県や他地区に先駆けて行っている大会で、それは別名「大人が怒っていない大会」とも言います。選手として、4年生以下の小学生はもちろん、幼児でも参加できます。ルールは、1試合のうち必ず1回はコートの中に入ること、サーブは連続5本まで、体力がない選手はコートの中からサーブを打つても良いなどです。今年度の第3回大会では、出場チーム数が、6年生の公式大会の参加チーム数に匹敵する13チームでした。団員の弟や妹、バレーボールに興味がある幼児や小学校低学年の子ども達が、ぶかぶかのユニフォームを着て、高いネットに向かってアタックを打ったり、自分の顔より大きいボールを一生懸命拾いに行ったりする姿が印象的でした。その姿を見て、指導者をはじめ、会場の保護者からも応援の声がたくさん飛び交う微笑ましい大会でした。大会終了後も、保護者の承諾を得て保険に加入し、練習に顔を出してバレーボールを楽しむ子どもも見受けられ、子ども達がバレーボールをはじめ、スポーツに触れるきっかけとなっていることを実感しております。このような大会が、団員数の増加の一助になるよう、今後も続けていきたいと思います。

バレーボール専門部では、指導者講習会として、バレーボールVリーグで戦っているアランマーレ山形の選手から、体作りやパス、レシーブ、攻撃ブレイクなど、技術指導や体力トレーニングの方法を教わるバレーボール教室を開催しております。選手が会場に入場すると子ども達の目がキラキラし、直接話をしたりブレイクを教わったり、成功するとハイタッチをしたりと喜んでバレーボールに親しんでいます。教室の最後にはコミュニケーションタイムとして、ウェアや色紙にサインをしてもらったり、一緒に記念写真を撮ったりと、子ども達の思い出に残る一日となっています。将来は是非、地元の子どもの達の中からアランマーレ山形の選手が誕生すればいいなと、ささやかな希望を抱いています。

最後に、バレーボール専門部では、現在、少子化で団員が少なくなり、チームの存続が厳しくなっているという課題があります。しかし、今後も各チームの指導者と情報交換を行いながらいろいろと工夫を凝らし、バレーボール、スポーツに親しめる環境を作っていくと考えております。



私は小学2年生でバレーボールを始め、今まで5年間バレーボールを続けています。5年生の時は、6年生が一人もいませんでしたが、全国大会予選の山形県大会に出場し第3位でした。その年の秋、5年生以下大会の県大会で優勝することができました。

6年生になるとコロナ前と同じように、多くの遠征や練習試合をするようになりました。県外の全国レベルの実力を持つチームと練習試合を行い、数点しか取れず、圧倒され負けたこともありましたが、県内でも山形市のチームと練習試合をしました。そこでたくさん人の負けを経験したからこそ、私たちは力をつけて強くなれたのだと思います。おかげで2年連続出場した全国大会予選の山形県大会で優勝することができました。

全国大会は、会場があこがれの東京体育館だったこともあり、とても緊張しました。1日目は熊本県と三重県のチームと対戦しました。どちらの試合も3セットの接戦でしたが、負けてしまいました。2日目も勝つことはできませんでしたが、最後の試合は、チーム全員が励ましあったり、アドバイス



しあったりして、今までで一番楽しく試合することができました。

全国大会では全敗してしまっただけで、私たちはそれ以上のものをつかみ取ることができました。それは、仲間を信頼することや大きな夢を持つことです。この経験をバレーボールだけでなく、普段の生活にも生かしていきたいです。

全国大会出場までを振り返って

若浜バレーボールスポーツ少年団 鈴木 亜花璃

【出場大会】
第43回全日本バレーボール小学生大会
令和5年8月7日～10日／東京都

全国大会出場！

僕は、昨年に続き2年連続で全国大会に出場しました。空手の競技は形競技と組手競技の2種類あり、僕は組手で出場しました。昨年の大会は、はじめての全国大会だったのですごく緊張しましたが、楽しい気持ちで試合に臨みました。結果は2回戦敗退でした。

試合で負けたとたんに悔しい気持ちでいっぱいになりましたが、もっと強い人がいっぱいいることも知りました。

僕は次の全国大会に向けて、活躍できるように負けた試合や強い人の試合の動画を何度も何度も見て研究しました。また道場の練習以外にも県外の道場へ練習に行ったり、お父さんと一緒に体育館を借りて自主練習もたくさんしました。時々うまくできなくて泣きながら練習したり、すごく疲れて練習が嫌になってしまいうこともありました。でも勝ちたい気持ちでやり続けました。

練習のおかげで、今年の全国大会では緊張よりも「やってみよう」という気持ちがいっぱいでした。試合が楽しかったです。出場していた選手の中にはこの1年でできた友達もいっぱいいました。今年の大会では3回戦まで行くことができたのですが、目標としていたベスト4には入ることができませんでした。



僕は、最初の全国大会で負けてから空手ノートを付けています。ノートには自分ができたことや、できなかったこと、いろいろな先生に教わった技を書いていきます。そのノートの最初には「不撓不屈」「沈着冷静」と書きました。

僕はその言葉を大事にしています。どんなに強い相手にも負けない気持ちで立ち向かい、心は熱く頭は冷静に試合するようにしています。

いつも教えてもらっている道場の先生や、県外の先生たち、お父さんお母さん、そして僕を支えていてくれる人に感謝の気持ちを忘れずに、これからも空手を続けていきたいと思っています。

全日本少年少女空手道選手権大会に出場して

和鷲会スポーツ少年団 加藤 光 稀

【出場大会】
第23回全日本少年少女空手道選手権大会
令和5年8月7日～9日／東京都



2月24日(土)、ル・ポットフーで開催された「令和5年度酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会」に、団員・指導者など合わせて38名が参加しました。

講演では、子どもの「走る」「跳ぶ」「投げる」といった基本的な運動能力が低下していることがデータで示され、改善のためには、子ども達自身が体を動かす楽しさを発見することが大切だと教えてい

酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会

「子どもの健康・体力・仲間づくりを考える」

講師 渡辺 耕司氏

(新潟県レクリエーション協会専務理事・事務局長)



いただきました。

実技指導においては、新潟県レクリエーション協会が提案する「レク式体力チェック」の中から数種類を実際に団員や指導者が体験しました。

参加した団員からは、「楽しかった」という声が多く聞かれ、指導者からも、「参加型の研修会はとても有意義だった」といった感想が寄せられました。

酒田市・遊佐町 スポーツ少年団交流大会

「スポーツで心一つ ニュースポーツにチャレンジ」

2月24日(土)、市武道館で開催された「第50回酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会」に本市から8名、遊佐町から2名の計10名の団員が参加しました。

この事業は本市と遊佐町の各スポーツ少年団員の交流を図ることを目的として開催され、今年度で50回目を迎えました。残念ながらインフルエンザ等感染症の流行により、参加者が少ない状況でしたが、本市と遊佐町のスポーツ推進委員会の方々から協力していただき、ニュースポーツをテーマとしてフロアカーリングとモルックの2競技を通して交流戦を行いました。交流戦では、保護者や指導者と一緒にゲームを楽しむ団員達の姿が見られました。



講師・内容についてご意見をお寄せください!

酒田市スポーツ少年団本部では、毎年指導者研修会を開催しています。過去3年の研修会内容は次の通りです。

◆令和4年度

「プレイヤーズセンタードコーチングで 子どもたちのワクワクを引き出そう」

講師：伊藤 雅充氏(日本体育大学 体育学部体育学科 教授)

◆令和3年度

「ジュニアアスリートのからだづくりを考えた食事 ～食事は基本の形で免疫力アップ!～」

講師：西田 久美子氏

(山形県立米沢栄養大学健康栄養学部助手・公認スポーツ栄養士)

◆令和2年度

「やる気を引き出す魔法の言葉 ～ペップトークで体罰暴言ゼロ宣言～」

講師：小野 弘志氏

((一財)日本ペップトーク普及協会認定講師)

北海道・東北ブロック代表 ファミリー・カイロプラクティック 院長)

「〇〇さんの講演が聞きたい」「〇〇を実施してほしい」等ご要望がありましたら、市スポ少本部事務局までお知らせください。

連絡先 酒田市スポーツ少年団本部事務局

〒998-8540 酒田市本町二丁目2番45号

酒田市教育委員会スポーツ振興課内

電話/0234-43-6651 メール/sports@city.sakata.lg.jp

令和5年度 事業報告

	事業名	期 日	会 場 ・ 参 加 者
大会	第51回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7月15日～16日	庄内空港緩衝緑地多目的広場 150名
	第51回 同 野球大会	7月17日～30日	松山多目的グラウンドほか 185名
	第50回 同 バスケットボール大会	8月19日～20日	八幡体育館ほか 313名
	第54回 同 卓球大会	8月11日	酒田市体育館 77名
	第44回 同 バレーボール大会	8月27日	八幡体育館 120名
	第48回 同 剣道錬成大会	8月27日	平田B & G 海洋センター体育館 37名
	第31回県少年少女スポーツ交流大会	10月1日主会期	県内各地
	第50回酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会	2月24日	酒田市武道館 25名（団員10名、指導者等15名）
研修関係	第6回ジュニアスポーツフォーラム	6月18日	東京都JPタワーホール&カンファレンス（東京都）2名
	ジュニア・リーダースクール	10月28日～29日	山形県青年の家 参加者なし
	シニア・リーダースクール	8月9日～12日	国立中央青少年交流の家（静岡県）参加者なし
	第59回山形県スポーツ少年大会	8月8日～10日	神室少年自然の家 参加者なし
	第54回東北ブロックスポーツ少年大会	8月4日～6日	神室少年自然の家 参加者なし
	第61回全国スポーツ少年大会 【中止】	8月4日～7日	国立淡路青少年交流の家（兵庫県）
	庄内地区協議会研修会	7月8日	パレス舞鶴（遊佐町） 4名
	県スポ少指導者・育成母集団研修会	11月19日	琥珀の湯・櫂の宿（東根市） 5名
	スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会	9月～12月	県内4会場 27名
	スタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクター養成講習会	11月4日～5日	JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE（東京都）1名
講習会	指導者講習会・技術指導講習会	3月10日、12月9日 3月17日、10月22日 7月29日、11月12日	サッカー 41名、野球 28名 バスケットボール 37名、卓球 40名 バレーボール 169名、剣道 49名
	表彰	4月16日 2月24日 11月19日	ル・ポットフー 優秀指導者章 6名 ル・ポットフー 優秀選手章 26名 琥珀の湯・櫂の宿（東根市）日本スポーツ少年団顕彰 1名
会議	本部員会、常任委員・専門部会長会議、指導普及委員会	随時開催	
	本部代議員会 庄内地区協議会理事会 庄内地区協議会代議員会	4月16日 5月19日、2月6日 5月19日	ル・ポットフー 庄内総合支庁分庁舎 庄内総合支庁分庁舎

令和6年度 事業計画（案）

	事業名	期 日	会 場
大会	第52回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7月13日～14日	庄内空港緩衝緑地多目的広場
	第52回 同 野球大会	7月14日～21日	松山多目的運動広場 他
	第51回 同 バスケットボール大会	8月17日～18日	INPEX酒田アリーナ（国体記念体育館）
	第55回 同 卓球大会	8月24日	INPEX酒田アリーナ（国体記念体育館）
	第45回 同 バレーボール大会	8月25日	INPEX酒田アリーナ（国体記念体育館）
	第49回 同 剣道錬成大会	8月25日	INPEX酒田アリーナ（国体記念体育館）
	第32回山形県少年少女スポーツ交流大会	10月6日主会期	県内各地
	第51回酒田市・遊佐町スポーツ少年団交流大会	2月	未定
研修関係	第7回ジュニアスポーツフォーラム	6月	東京都
	庄内地区協議会研修会	未定	庄内町（予定）
	第60回山形県スポーツ少年大会兼ジュニアリーダースクール	7月27日～29日	最上地区
	第62回全国スポーツ少年大会	8月上旬	秋田県
	シニア・リーダースクール	8月（予定）	国立中央青少年交流の家（静岡県）
	スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会	調整中	県内4会場
	スタートコーチインストラクター養成講習会	10月～11月	未定
講習会	指導者講習会・技術指導講習会	未定	
	運動適正テストⅡ研修会	10月26日	INPEX酒田アリーナ（国体記念体育館）
表彰	酒田市スポーツ少年団本部表彰式	4月21日	ル・ポットフー
	酒田市スポーツ少年団本部優秀選手章表彰式	2月	未定
会議	日本スポ少顕彰伝達式・県スポ少表彰式・県スポ少指導者・育成母集団研修会	11月17日	最上地区
	本部員会、常任委員・専門部会長会議、指導普及委員会	随時開催	
会議	本部代議員会	4月21日	ル・ポットフー
	庄内地区協議会理事会	5月10日、2月21日	庄内総合支庁分庁舎
	庄内地区協議会代議員会	5月10日	庄内総合支庁分庁舎

令和5年度 酒田市スポーツ少年団本部登録団一覧表

No.	単位団 No.	単位団名称	代議員名	団員	指導者等	No.	単位団 No.	単位団名称	代議員名	団員	指導者等
1	003	琢成・松陵・西荒瀬ミニバスケットボール	齋藤 浩二	19	2	41	151	宮野浦サッカー	佐藤 淳一	31	3
2	005	琢成剣道	佐藤いつ子	13	4	42	152	宮野浦野球	五十場 忍	17	4
3	006	琢成卓球	加藤 弘良	5	3	43	153	宮野浦ミニバスケットボール	齋藤 伸	27	2
4	011	浜田サッカー	竹内 大	5	2	44	154	宮野浦バレーボール	小寺 由一	15	2
5	012	浜田野球	工藤 睦久	12	5	45	155	宮野浦剣道	中津 治	5	2
6	013	浜田ミニバスケットボール	伊藤 華歩	16	2	46	179	平田ミニバスケットボール	高田 裕之	9	3
7	039	富士見	新田 豊	66	17	47	189	ひらた卓球	庄司 学	13	2
8	041	亀ヶ崎サッカー	林賀 一郎	15	2	48	192	鳥海野球	池田 俊克	4	7
9	042	亀ヶ崎野球	村上 範昭	19	7	49	194	鳥海バレーボール	白幡 春喜	14	2
10	043	亀ヶ崎ミニバスケットボール	新田 篤志	37	3	50	217	アテネ体操クラブ	五十嵐直基	22	2
11	044	亀ヶ崎ミニバレーボール	蛭原 秀子	17	2	51	237	酒田ジュニアソフトテニス	遠田 貞和	15	5
12	045	亀ヶ崎剣道	吉川 文彦	9	2	52	238	酒田 J r . K	大崎恵美子	25	4
13	046	亀ヶ崎卓球	木山 敏広	12	2	53	257	S R K ジュニアクラブ	富樫 隆夫	57	2
14	051	松原サッカー	高橋 貴寛	18	2	54	258	SRKキッズクラブ	後藤 良	8	3
15	052	松原野球	後藤 亮	18	4	55	277	酒田宮野浦少林寺拳法	加藤 明男	6	2
16	053	松原ミニバスケットボール	菅原敬太郎	30	9	56	300	若浜卓球	渡邊 孝介	15	6
17	054	松原バレーボール	澁谷 和仁	16	2	57	301	若浜サッカー	渡會 徹	37	3
18	055	松原剣道	松田 美法	2	2	58	302	若浜ミニバスケットボール	宮田 崇志	32	2
19	056	松原卓球	滝澤 琢也	7	2	59	304	若浜バレーボール	武田 正祐	12	4
20	071	松陵	高橋 大	38	3	60	308	酒田市柔道	新田 道隆	21	3
21	081	泉学区サッカー	石川 真喜	21	4	61	309	和鷲会	齋藤 等	20	2
22	082	泉野球	村上 太郎	14	8	62	401	八幡JVC	後藤 信人	11	3
23	083	泉ミニバスケットボール	池田 郁雄	27	4	63	402	一條サッカー	富樫 浩明	21	4
24	084	泉バレーボール	長谷川 司	11	3	64	404	八幡男子ミニバスケットボール	村上 智志	34	5
25	086	泉卓球	小笠原勝喜	10	4	65	407	Y.I.Cミニバスケットボール	池田 公平	16	3
26	099	西荒瀬	綱淵 芳幸	1	3	66	408	酒田市空手道	佐藤 英俊	12	2
27	103	新堀ミニバスケット	齋藤 純	14	4	67	503	松山サッカー	石川 直紀	16	3
28	104	新堀野球	太田 雅人	5	2	68	504	松山ジャンプガールズミニバスケットボール	阿部 幸義	16	3
29	105	新堀剣道	斎藤 裕喜	2	2	69	600	秋真館	長谷部 勝	7	3
30	110	レンジャーズ野球	五十嵐 武	15	4	70	602	南平田卓球	石黒 昌弘	3	4
31	119	広野	上野 和司	20	9	71	605	平田ジュニアサッカークラブ	後藤 学	17	4
32	129	浜中	川村 広道	18	4	72	607	平田陸上教室	斉藤 淳	63	4
33	139	黒森	久松 香	3	2	73	608	南平田ミニバスケットボール	菅谷 浩二	11	2
34	141	十坂サッカー	高橋 優介	16	3	74	701	庄内バレー道場	小野寺 昭	8	2
35	142	十坂野球	佐藤 健	10	8	75	702	TSN・Dears	酒井 健司	23	7
36	143	十坂ミニバスケ	佐藤 祐介	7	3	76	800	東部 J B C 野球	久保田 潔	16	7
37	144	十坂バレーボール	加藤 裕介	13	4	77	801	CJヤンキース	佐藤 宏明	17	8
38	145	十坂剣道	高橋 健人	1	3	78	802	酒南ジュニア柔道クラブ	安達 芳久	11	2
39	146	十坂卓球	豊田 航太	5	2	合 計				1,300	288
40	147	十坂キッズ	清水 和久	6	4						

令和5年度 スポーツ少年団主催大会種目別結果

種 目	大 会 名	期 日	会 場	結 果
サッカー	第51回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部サッカー大会	7月15日 ～16日	庄内空港緩衝緑地運動 広場	優勝 亀ヶ崎 2位 十坂 3位 松原
野 球	第51回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部野球大会	7月17日 ～30日	松山多目的グラウンド 浜中小学校グラウンド	優勝 亀ヶ崎 2位 富士見 3位 レンジャーズ、浜黒TWINS
バスケットボール	第50回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部ミニバスケットボール大会	8月19日 ～20日	八幡体育館 遊佐町民体育館	男子優勝 若浜 2位 泉 3位 八幡 女子優勝 松原 2位 陵成 3位 Y U Z A
卓 球	第54回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部卓球大会	8月11日	酒田市体育館	男子団体 優勝 泉 2位 十坂 3位 若浜、南平田 女子団体 優勝 遊佐 2位 若浜B 3位 若浜A、ひらた ホープス男子 優勝 平 幸晟 (泉) 2位 小松 優太 (富士見) 3位 佐藤城一朗 (ひらた) ホープス女子 優勝 佐藤 樹 (琢成) 2位 後藤亜依子 (琢成) 3位 伊藤 理紘 (富士見) カブ男子 優勝 佐藤 光希 (琢成) 2位 佐藤 太昂 (泉) 3位 土田 大和 (ひらた) カブ女子 優勝 小松原舞楓 (亀ヶ崎) 2位 門脇 結 (亀ヶ崎) 3位 佐藤 航生 (ひらた) カブ新人男子 優勝 高橋瑞絆希 (ひらた) 2位 高橋琉生斗 (ひらた) 3位 澤野 美咲 (琢成) カブ新人女子 優勝 柳沼 千彩 (泉) 2位 兵藤 彩音 (亀ヶ崎) 3位
バレー ボール	第44回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部バレーボール大会	8月27日	八幡体育館	女子優勝 宮野浦 2位 松陵 3位 松原、遊佐 混合優勝 若浜 2位 庄内バレー道場 3位 十坂
剣 道	第48回酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部剣道錬成大会	8月27日	平田B & G海洋センタ ー体育館	男子団体 優勝 遊佐 2位 秋真館 3位 亀ヶ崎 女子団体 優勝 秋真館 2位 遊佐町A 3位 遊佐町B 個人戦男子5・6年生 優勝 鈴木 颯真 (遊佐) 2位 佐藤 翔俐 (遊佐) 3位 山本 直歩 (亀ヶ崎)・大谷 真都 (亀ヶ崎) 個人戦女子5・6年生 優勝 蓮菜 (秋真館) 2位 石川 陽菜 (秋真館) 3位 佐藤 心優 (遊佐)・本間 愛野 (遊佐) 個人戦男子4年生以下 優勝 今野 和真 (亀ヶ崎) 2位 齋藤 優月 (川南) 3位 富樫 大志朗 (琢成)・猪飼 朔 (遊佐) 個人戦女子4年生以下 優勝 栗林 羽菜 (亀ヶ崎) 2位 石垣 莉央 (琢成) 3位 星川 桃花 (亀ヶ崎)・奥山 優妃 (松原)

令和5年度各種表彰

●日本スポーツ少年団顕彰

齋藤勉 (市スポーツ少年団本部長)

●市スポーツ少年団本部優秀指導者章

令和5年度市スポーツ少年団本部表彰式を令和5年4月16日、ル・ポットフーで行いました。所属スポーツ少年団を、県代表として全国大会出場に導いた功績を称え、6名の指導者に対し、齋藤本部長が表彰状を贈呈しました。

◆受賞者 (敬称略)

【バスケットボール】池田郁雄、太田望、阿部裕司、菅原楓花、齋藤一成 (泉ミニバスケスポ少)

【野球】佐藤健 (レンジャーズ野球スポ少)

●市スポーツ少年団本部優秀選手章

酒田市の「白崎資金スポーツ優秀選手表彰」の廃止に伴い、当本部が新設

した優秀選手章の表彰式を令和6年2月24日、ル・ポットフーで行いました。県大会優勝など優秀な成績を取めた団員26名に対し、齋藤本部長が記念メダルを贈呈しました。

◆受賞者 (敬称略)

【バレーボール】鈴木亜花璃、栗橋花帆、三浦莉桜、山下ひかり、宮田莉々子、佐藤舞雪、山下煌太郎、金子陽飛、梅川彪牙、鈴木瑞季、櫻井湖都、石垣海輝 (若浜バレースポ少)

【陸上】佐藤壮真、佐藤陽斗、高橋大河、渋谷杏俐、永澤実音、富樫叶、守屋里緒、後藤柚姫 (SRKジュニアクラブスポ少)、後藤蒼 (泉ミニバスケットボールスポ少)、中山こころ (平田陸上教室スポ少)

【空手】加藤光稀 (和鷲会スポ少)、伊藤愛結、小松宗平、池田宗一郎 (市空手道スポ少)

